

桜蔭中学2022年

受験ドクター 解答

問一 a 組織 b 浴び c 姿 問二 A 背中 問三 B 老若男女

問四

食べることについて、栄養やカロリーを摂るために一定時間を経てエネルギーとして燃やされ、もえかすが排泄されるという常識的予想に反して、元素レベルで調べると、実際は自分の身体の一部が食べられたものに置きかわっていくという、言葉にすると現実とは思えないようなことがおこっていることへのおどろき。

問五

宇宙で生命が誕生して太古の昔から別々の進化の過程をたどり、それぞれまったく異なる仕方ですらを表現してきた動植物や鉱物が、食卓の上で一緒になっており、食材の産地を支える地球の自然環境や人間が培ってきた食文化の歴史にまで想像が広がり、驚きと感動を覚えるから。

問六

現代社会は自然の富である動植物や物質を、だれかの所有物とし、お金で売買する商品にしてしまうが、本来自然から圧倒的に豊かな富をもらい拾って生きてきたのだという認識をもち、そのことに驚き感謝の念をもつことで、自分たちも他の存在に与えて助けあいながら生きていく姿勢をもつように成長していく。

問一 a 森林 b 情報 c 容量 問二 ア 黄色 イ 背が高い

問三 A 助け舟(助け船でも可)

問四(一)

死んだ友達と自分はたとえるなら、けんか独楽がぶつかりあって競いあうような好敵手として互いに刺激しあえる関係であり、大切な友だということ。

問四(二)

独楽の句のように、自分もソラに対して目の前の題材をつかったとえて気の利いた挨拶をするつもりだったのに、その意図が伝える句が作れなかった自分の未熟さをふがいなく悔しく感じている。また、ソラの顔の大きいホクロをヒマワリのエネルギーの源である立派な種にたとえたつもりで、ソラを傷つけてしまったことを申し訳なく思っている。

問五

ハセオの俳句は、自分がいじめられる原因になっているホクロをからかっているように思えるもので許せない気もちだった。しかし、家まで来て率直に自分の真意と悪かったところを必死に伝えてくれるハセオを見て、本来悪意でからかうための俳句をつくるような人間でないこと、本心では彼を友だちだと思っていたことに気づき、とつくに彼を許していたため、それを口に出すことですっきりとした気持ちになっている。

問六

俳句のことをバカにされて傷ついてきたハセオが、俳句への思いを受けとめてくれた自分とこれからともに俳句を詠んでいく仲間になりたいと思っていることを感じ、その思いを託したひまわりの種を取っておくことで、自分に友だちを信じる力をくれたハセオとの出会いを、いつまでも忘れずにいようという気持ち。